

4.4 医療・介護 Medical Care/Long-term Care

介護現場の誤薬を防止する服薬介助支援ツール“めでいさぼ”

Tools to Prevent Medication Errors in Care Settings "MEDI-SAPO"

介護施設が抱える課題の一つに誤薬がある。薬の間違いは健康被害につながるため、服薬介助は複数人によるチェックがなされ、業務負荷に加えて精神的負担が大きい。

三菱電機ITソリューションズ(株)では、服薬介助時の薬の渡し間違いを防ぐ、服薬介助支援ツール“めでいさぼ”を開発した。“めでいさぼ”は、一包化された薬の袋(薬包)に印刷された氏名のAI-OCR読み取りと、被介護者の顔認証によって、薬と人を照合し、被介護者本人にその薬を渡すことができているかをチェックする。QRコード(注)で本人確認するサービスもあるが、薬包への印刷は薬局に依頼し、本人識別用にはQRコード付きネームプレートなどを

介護施設が用意するなど、準備に時間を要する。一方で“めでいさぼ”はそれらの準備が不要なため、初期導入期間が削減され、契約後すぐに使い始めることができる。

また、“めでいさぼ”を使うことで、誰が、いつ、誰の薬を、誰に渡したか記録を残すことができ、被介護者の家族に対する報告資料にも活用できる。現在、介護ケア記録システムとの連携を開発しており、介護ケア記録システムで服薬介助の実施が確認できるようになる。

“めでいさぼ”は被介護者に対して、安心安全なサービスを提供するとともに、介護職員の精神的な負担を軽減し、介護現場に貢献する。



“めでいさぼ”の使い方

<取り扱い：三菱電機ITソリューションズ(株) TEL：03-5309-0626>

電子署名“MELSIGN”

Electronic Signature "MELSIGN"

“MELSIGN”は、電子処方箋署名、及び汎用的なPDF (Portable Document Format) 署名とXML (Extensible Markup Language) 署名を実現する開発ベンダー向けのライブラリー製品群である。電子署名は記名押印が義務付けられた文書の電子化や、紙原本を電子原本にするために必要な技術である。

2024年4月、MELSIGN電子処方箋署名モジュールにリモート署名のマイナンバーカード認証機能を追加した。このモジュールは、HPKI (Healthcare Public Key Infrastructure) カードを用いたローカル署名と三つの認証方式 (HPKIカード、FIDO(注)デバイス、マイナンバーカード) に対応したリモート署名を一つのAPI (Application Programming Interface) で利用できるという特長がある。

開発ベンダーは機能の実装負担を大きく軽減できることから導入実績を伸ばしており、2024年8月時点で6,000件になった。

2024年8月リリースの汎用的な署名機能 (PDF署名及びXML署名) は、HPKIカード又はPkcs#12ファイルを用いた医療分野向け署名システムを構築できる。MELSIGNは長期署名に対応しており、患者退院後5年間の保管義務等の規則に対応して署名済み文書の署名延長 (アーカイブタイムスタンプ) を実施して署名文書の10年を超える長期保存と検索及び署名検証が可能である。リリース以降、医療文書の電子保存への引き合いが5件発生しており、今後もニーズ拡大が期待できる。

<取り扱い：三菱電機ITソリューションズ(株) TEL：03-5309-1065>